

菅原 真 先生

先生のプロフィール

【出身地】 山形県鶴岡市

【専攻】 憲法学

【近年(2~3年)の担当科目】 日本国憲法(共通教育)、憲法総論、人権総論(法学部)ほか

【コロナ後に行きたい場所(国内でも外国でも)】
フランス共和国、大韓民国、ニュージーランド



【ウィズコロナの時代において、先生が考える学生がすべきことを教えてください】

まず、自分の居場所を見つけること。心身の健康が一番です。そして次に、新型コロナウイルスによるパンデミックで生じた様々なことを踏まえ、自分ができること、やりたいことに一生懸命に取り組むこと。特に、一人一人の人間を大切にする地域社会、国家、世界を構築するために何が必要かを真摯に考え、学び、(マスクを装着しながら)友人たちと話し合い、一緒に行動できると素敵だと思います。

【コロナ後の大学はどうなっていくと思いますか】

パンデミックや気候変動への対応など、人類的諸課題を探究することがさらに求められるでしょう。グローバル化、IT化、少子高齢化のさらなる進展などの諸変化に大学も対応していかざるを得ません。

【100分授業になってからの変化、授業における工夫を教えてください】

この一年半、国内留学していたため100分授業は初めての体験です。必要に応じて、学生諸君の見解を聞いたり映像資料を見たりしながら(映像はえいぞ〜)授業を進めていきたいと思っています。

【おすすめのお昼ご飯(学食に限りません、近隣のお店のメニューやお弁当)があれば教えてください】

一年に1~2回しか行きませんが、お金があればフランス料理「ラ・メゾン・ルージュ」(要予約)。またトルコ料理「メガケバブ名大店」には外国人留学生が大勢いて、フランス留学時を思い出します。